

第 11 回 第 3 次丹波市総合計画審議会 会議録

日時：2024 年 4 月 5 日（金）

10:00～12:00

場所：本庁第 2 庁舎 2 階ホール

【出席者委員】（敬称略）

岸本 好量、竹内 真子、芦田 基、坂本 康子、金川 方子、柳瀬 長明、杉岡 秀紀、
池畑 美帆、山口 洋子（9 名）

【欠席者委員】（敬称略）

上羽 裕樹、森島 斉、植木 光敏、大野 亮祐、足立 はるみ、寺内 清、貫吉 直（7 名）

【事務局】

副市長、清水ふるさと創造部長、磯崎総合政策課長、荻野雅文情報政策係長、垣内政策係長、
足立沙織主事、足立優主査

【傍聴者】

なし

配布資料：【資料 1-1】第 3 次丹波市総合計画の基本構想案

【資料 1-2】施策体系図案

【資料 2】基本構想案に対する意見と対応について

【資料 3】第 3 次丹波市総合計画（前期基本計画）の記載内容一覧

【資料 4】基本計画案に対する意見と対応について

【資料 5】第 3 次丹波市総合計画（前期基本計画）の指標一覧

1. 委嘱状の交付

丹波市工業会の 副会長 芦田基氏を新たに委嘱（細見博美氏の後任）

2. 開会

3. あいさつ

【会 長】 丹波市は、令和 6 年度で合併 20 年周年の年に入った。秋には市長選挙や市議会選挙などが控えており、まちが大きく変化する年になるが、地に足をつけ、引き続き市のビジョンについて議論をしていこうと思う。

【副市長】 第 3 次丹波市総合計画では、9 月議会での提案をめざして進めており、残り半年ほどの終盤に差し掛かっている。先月の 3 月議会では直近の進捗状況を報告し、様々な意見をいただいた。本日の審議会では、これまで出た意見や修正点の説明を予定している。ま

た、前回審議会概要のみであった基本計画案の説明をさせていただき、審議を賜りたい。今後の流れとしては、6月には総合計画の素案をとりまとめ、パブリックコメントや市民説明会を経て、8月に答申をいただく予定となっており、よろしくお願いしたい。

【会 長】 総合計画案について、これまで審議会委員の皆様ワークショップ形式で議論いただいたが、8～9割の内容の調整ができたなかで、本日は審議会形式で協議をしていきたい。

今後の審議会では、議題がこども版総合計画や概要版総合計画になっていくと思われる。その前に、計画案そのものを固めていく作業をしたい。

この後、事務局から基本構想、基本計画、指標などについて説明をしていただき、全体を通じて、審議会委員の皆さんから意見をもらいたい。

4. 協議事項

(1) 第3次丹波市総合計画の基本構想案について【資料1-1・1-2・2】

……事務局より資料1-1・1-2・2を説明。

(2) 第3次丹波市総合計画（前期基本計画）の記載内容について【資料3・4・5】

……事務局より資料3・4・5を説明。

【会 長】 前回までの審議会、庁内委員会、議会の意見を受け、本日の修正版の資料ができています。ただし、これが最終版ではないので、磨き上げをしていただきたい。具体的には、これまでの協議から整合性がとれた内容となっているか、今後10年の方向性としてふさわしい内容となっているかなど、皆さんの視点で意見を伺いたい。

【委 員】 資料3の1ページ目、「安心して子どもを産む人が増えています。」とあるが、この表現は女性に限定されている気がするので、「子どもを持つ人が増えています。」など、性別を限定しない表現を検討したほうが良いのではないかと。施策体系図案のポンチ絵は非常に良くなったと思う。横長の図案なので、A3で横向きにして折り込むなど工夫した方が良いのではないかと。

【会 長】 施策体系図案の意見について事務局の考えはどうか。

【事務局】 どのようにするかまだ決まっていないが、縦に収録はしない想定である。文字がつぶれないようにA3で見開きか、折り込むかの方法で収録する。

【会 長】 京都府の母子健康手帳の改訂に携わったが、「母子」という言葉にいろんな議論があった。今回は国の方の法律などを考慮し、「母子」という言葉そのものは変えなかったが、「親子手帳」や「お父さん手帳」といった愛称で発行する事例も増えた。それも含め、「安心して子どもを持つ家庭が増えています。」などの方が、よりふさわしいと言えるのではないかと意見だったと思われる。事務局の考えはどうか。

【事務局】 担当課と前向きに調整し、性別に限定しない表現にする。

【委 員】 資料1-1の基本構想の15ページ以降に「将来像に込める想い」や「重要視点」などにおいて、「人口の減少下においても」というような表現が多用されている。この表現は省略してもいいのではないかと。資料3の1ページ目「こどもの教育」について、現状、不登校のこどもが増えている。こどもの居場所づくりが重要であると記載もあるが、もう少し全体的にこどものことを思った具体的な施策が記載されても良いのではないかと。

不登校のこどもたちを預かったりする取組など記載できないか。

【会 長】 資料 1-1 の意見について事務局の考えはどうか。

【事務局】 追記した理由としては、人口が右肩下がりになって初めての計画であり、人口減少という現状を市民の皆様にもしっかり理解していただきたいと考えているためである。もう一つ行政の役割として、人口が減少していくなかでも社会プログラムが成り立つことが重要であることを説明したかった。しかし、「人口減少」という言葉は、ネガティブにも受け取られる表現であり、削除することも踏まえて事務局で検討する。

【会 長】 人口減少については、推計人口や総合的課題など将来像までのページで説明されているため、事務局の意図は十分伝わるものになっていると思う。ただし、将来像などはポジティブな表現でまとめていくのが良いと考える。

資料 3 の不登校についての意見だが、例えばお昼に給食をとりだけに、また、部活動に参加するためだけに学校へ通っている子どももいる。与謝野町の不登校支援で言うと、町がカウンセリングの NPO 法人と連携してこどもの居場所づくりをするなど、専門家の伴走支援も増えてきている。こういったことも踏まえて事務局の考えはどうか。

【事務局】 現在、教育委員会でも、教育振興基本計画の策定を進めている。まなぶ場面の選択肢の広がりについては、教育分野でも大事なポイントと考える。担当課に情報共有し、検討させていただきたい。

【委 員】 知的障がい者の人たちが受け入れられる社会になってほしいと日々感じている。資料 3 の 7 ページに障がい福祉に関して記載があるとりの取組ができれば良いと感じる。

【会 長】 障がい福祉分野で、「復籍」という単語が使われているが、補足説明はいると思うか。

【委 員】 もう少しわかりやすい表現のほうが良いと思う。

【会 長】 業界用語の面が強いと思うので、表現を改める必要はないと思うが、説明を入れておいた方が分かりやすい。

【事務局】 聞きなじみのない言葉であるため、注釈や分かりやすい表現への置き換えなど、担当課と調整をさせていただく。

【委 員】 資料 1-2 の産業政策のピクトグラムについて、工業の絵になっているため、変更をしてほしい。資料 3 の 7 ページの農林業について、「副業農家」の言葉の意味について確認したい。あまり聞きなじみのない言葉だが、給料をもらっていると「副業農家」という分類になるのか。「兼業農家」と同等の意味で使われているのか。

【会 長】 ピクトグラムについて、工場のマークだけで農業や観光業などが表現できているのかという意見だった。資料 1-2 の意見について事務局の考えはどうか。

【事務局】 工業のイメージが強いピクトグラムだと思うので、再度検討する。

【会 長】 できれば農業が盛んな地域なので、農業が分かるようなピクトグラムが良いと思う。それでいて、観光や商工業につながるものになってほしい。

資料 3 の意見について事務局の考えはどうか。

【事務局】 担当課に確認し、表現が正しいか、注釈をつける必要があるかを検討する。

【委 員】 資料 1-2 「まちづくりの目標」「重要視点」の文字が目立っていない気がする。資料 3 の 4 ページの定住について、地元の高校を卒業して丹波市に残る人たちに焦点を当ててほしい。また、家を建てる際に農業振興地域の審査に引っかったという声も聞いている。移住してきた人が、村入りをする際に驚くほどの費用が発生するという声も聞く。村入り

しやすい体制を整える必要があるのではないかと。農業については、安定的に供給するために地元の人が地元の野菜を食べるという点もアピールしていく必要があるのでは。

【会 長】 施策体系図について、「まちづくりの目標」や「重要視点」の文字のポイントが、確かに小さいように思う。

【事務局】 「まちづくりの目標」「重要視点」の文字が小さいように感じる。このあたりのレイアウトの仕方は再度検討をさせていただきたい。

【会 長】 資料3の意見について、丹波市では、ふるさと住民の取組をされており、卒業して市外に出ていくこどもたちが丹波市とつながりをもつための良い取組ではある。一方、高校を卒業したこどもたちの定住については、この分野では記載が難しい。教育分野も基本的には小学校・中学校のこどもたちに対するアプローチになる。事務局の考えはどうか。

【事務局】 高校生の市内就職については、資料3の7ページの商工業に記載をしている。市内企業への就職を促すパンフレットを配ったり、市内就職に特化したポータルサイトでの情報発信も行っている。高校生だけでなく、小中学生にも市内企業と関りをもってもらうことは必要だと考えており、教育分野でも、ふるさと学などの視点から記載をしている。表現については、担当課に伝え、再度確認をしてもらう。

【会 長】 地元高校生の定住に関して、各分野で記載されているとのことだったが、表現として地元高校生を感じられるものにできればと思うので、ぜひ検討いただきたい。

また、農業振興地域について意見があった。綾部市では計画上は、どこでも家が建てられるようになり、これは全国でも特異な例である。移住・定住の分野に、若者の住居についての記載があり、十分読み取れるとは思いますが事務局の考えはどうか。

【事務局】 農振除外に関する問題は市としても認識しているが、難しい問題であり、記載しきれない部分もあるため、担当課に確認をしながら慎重に検討を進める。土地利用・景観・住宅の分野においても表現ができるか検討する。

【会 長】 地域は担い手不足であり、新しい住民に来ていただくことが必要というなかで、村入りに係る費用や消防団を含め様々な役職が負担になり、定住につながらない事例がある。地域側の受け入れ体制の工夫ができないかという問題提起であったと思う。

【事務局】 自治会の取組を計画に記載することは難しいと思う。ただ、個々の取組に関して、移住テラスなどを通じて移住希望者に市から情報発信を行うことは可能かと思うため、移住・定住の施策のなかで取り組んでいきたいと考えている。

【会 長】 丹波市では「自治会活動手引書」を2010年に作成している。先進的な事例であるが、発行から10年が経過しており、内容も古くなっていると思われる。更新することで移住者にも見てもらったりすることができるのではないかとと思う。

【委 員】 資料1-1の基本構想の重要視点について、ピクトグラムを挿入されているが、施策体系図にも同じピクトグラムが入れば連動制があって良いと思う。

また、資料3の7ページの商工業において、「労働者にとって働きやすい企業が増えています。」という部分について、近年よく使われる「ワークライフバランス」といった言葉を使うのが一般的ではないか。

【会 長】 ピクトグラムを施策体系図にも挿入する意見について、事務局の考えはどうか。

【事務局】 一度ピクトグラムを反映し、審議会にデザインを見ていただきたいと思います。

【会 長】 資料3の7ページの商工業の働きやすさに関する意見についての事務局の考えはどうか。

- 【事務局】 働きやすさの表現について担当課と検討する。
- 【会 長】 カタカナが増えるといった面も考慮すべきなので、事務局で調整いただきたい。
- 【委 員】 資料3の2ページの市民活躍について、「市民が自発的に地域づくりに参加する意識を醸成するため、学びの成果を地域づくりの実践に活かす」と記載あるが、まずは市民が経験や知見を高める、学びの機会をつくっていくという記載があった方が良い。また、計画書全体に関して、施策の数が適正なのか、施策同士で重複している部分がないのかなど、今一度見直し、検討することも必要なのではないか。
- すでに反映されているかもしれないが、環境、交通、観光分野において、市だけでなく、関連自治体との共同の取組が記載されても良いのではないか。
- 【会 長】 資料3の2ページで、まずは市民が主体的に取り組む学びの活動、市民活動の支援について記載され、それが地域づくりに活かされる視点につながるという順序で、記載できればと思う。事務局の考えはどうか。
- 【事務局】 意見のとおり、市民の学びの場に関して記載が可能か検討する。
- 【会 長】 施策の数については、総合計画なので幅広く盛り込み、どこまで実効性を高められるかが重要となるため、KPIにも関連する。資料1-1の4ページの計画の期間には、「実施計画を1年ごとにローリングする」と記載されており、基本計画期間の5年、総合計画全体では10年の3段階で検証を重ね、市民とその結果を共有していく仕組みづくりが重要となる。KPIに関して、事務局はどのように考えるか。
- 【事務局】 KPIは、実施計画に合わせて、1年ごとに検証をしていく想定である。施策の数が適切かどうかという意見については、現在、庁内で調整している。次回の審議会では、指標数が整理された資料でお示しする。
- 【会 長】 国や都道府県、近隣自治体との広域連携の視点に関する意見について、記載されていないのではとの意見だった。事務局の考えはどうか。
- 【事務局】 広域連携の視点を記載するとなれば、資料3の11ページの行財政運営だと思うので、検討する。
- 【会 長】 丹波市では、ケント市・オーバン市とも姉妹都市提携をされている。国際交流についても併せて記載を検討いただきたい。昨今の震災からもわかるように、広域連携の視点は非常に重要となってきている。
- 【委 員】 資料3の基本計画については、このレイアウトのまま製本されるのか。
- 【会 長】 事務局の考えはどうか。
- 【事務局】 現行の第2次丹波市総合計画後期基本計画のように、A4縦に各項目が箇条書きで配置されるレイアウトになる想定である。
- 【委 員】 今後の資料は、ページ番号は中央ではなく右端につけていただけると見やすい。
- 【委 員】 資料1-1の2ページの基本構想について、第3次計画に入る前に第2次計画の振り返りが先に掲載されるべきではないか。できていないことだけが課題として前面に出ていて、これまでやってきたことの成果が分からない。やってきたことの成果の評価をしっかりとPRしていくことが重要ではないか。
- 【会 長】 第2次丹波市総合計画でやってきたことのポジティブな評価が記載され、第3次丹波市総合計画に進んだ方が良いのではないかという意見であった。事務局の考えはどうか。
- 【事務局】 以前の審議会では、第2次総合計画の評価・検証を示し、何ができたのか、できていな

いのか、今後どこに重点的に力を入れるべきかといったことをまとめた。その結果から、担当課で現状と課題を分析し、総合計画に反映している。ご指摘のとおり、第2次丹波市総合計画の評価・検証をしたとの記載がないため追記する。ただし、すべてを記載することは難しいため、QRコードからその内容が確認できるような形で検討する。

【委員】 施策体系図について、「まごころの里」とあるように「里」を踏まえた、丹波市らしいまちの絵にできないか。見ただけで、丹波市がイメージできることが大事だと思う。

また、教育分野では、不登校のこどもの背景も変わってきており、サポートに対する市の方針をもう少し具体的に記載できないか。

市民主体の計画になるよう、基本構想でも意識してきたが、資料3ではやはり行政視点が多くなってくる。観光協会や工業会など、市民団体と連携していく視点を盛り込めるのではないかな。

福祉分野では、福祉サービスを受けたい人はたくさんいるが、事業者が不足している。18歳を過ぎると生活支援を受け入れてもらえる枠が満杯で、どのように解決していくか展開を記載できればと思う。

農業分野では、市内の多くは兼業農家である。良い農作物をつくったとしても、農作物の販路の確保が課題となっている。人手も足りないので、スマート農業などの取組があったら良いと思う。仕事をしながら、農地を守れる基盤や仕組みづくりが必要なのではないかな。

防災分野では、高齢者が高齢者を守る場合も出てくることが想定される。避難困難者への対応について具体的な取組がもう少し書き込めないかな。

産業分野では、企業紹介のパンフレットなどがあるが、せっかく良いものをつくられているのに活用の範囲がせまい。窓口での対応に縦割り行政を感じた。企業紹介のパンフレットを教育現場で使うなど、横の部署とのつながりを意識してほしい。

【会長】 資料1-2の施策体系図について、事務局も改善を重ねてくれているが、もう一息お願いしたい。イラストだけでなく写真を入れるのも一案。

また、具体的な取組については、総合計画でどこまで記載していくかという課題もあるが、担当課の方に伝えていただき、表現などの確認をしていただきたい。

重要なポイントとして、福祉や観光、移住・定住の分野では民間ともすでに連携した取組を実施しており、その点の記載が正直弱いと感じた。「地域と連携しながら」というような、行政だけで達成する計画ではないということを表現していく必要があるのではないかなと思った。先ほど、広域連携の話があったが、内部連携の視点についても意見をいただいた。行財政運営の分野で、部署を越えて連携していく記載があったら良いのではないかな。これらも踏まえて、事務局の考えはどうか。

【事務局】 施策体系図においては、まちの絵が力負けしているという印象だと感じた。ピクトグラムの変更も含めて、丹波らしさが表現できるデザインを再考したい。

また、庁内外の連携の視点については、記載について検討していく。

5. その他

第12回丹波市総合計画審議会の開催日時については令和6年5月2日を予定している。

資料5の指標一覧案を配布しているが、本日お時間が限られておりましたので、後日、意見がいただ

けるよう依頼をさせていただく。

6. 閉会

【副会長】 新年度が始まり、忙しいなかではあるが、皆さんには今後とも活発な審議をよろしくお
願いしたい。

以上